

令和3年度 鶴岡市生活支援体制整備事業報告

R4.8.2 鶴岡市 地域包括ケア推進室

生活支援体制整備事業の目的

単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加するなか、医療、介護のサービス提供のみならず、生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的とする。

<第1層、第2層生活支援コーディネーターの役割>

第1層： 鶴岡市地域包括ケア推進室に配置し、第1層協議体と連携した新しい総合事業の創出、地域資源の開発やネットワークの構築、ニーズと取組のマッチング、第2層生活支援コーディネーターの支援などを行っている。

第2層： 各地域包括支援センターに1名配置し、担当地域における資源開発やネットワークの構築を行い、地域の関係者による多様な主体間の定期的な情報共有や、連携及び協働による取組みなどを進めるとともに、高齢者等の生活支援の取組みを行っている。また、第1層生活支援コーディネーターとともに住民主体による介護予防や生活支援の多様な担い手を養成し、住民同士の支え合いによる地域づくりを進めている。

<主な活動内容>

- ①地域にある支え合い活動の把握、新たな支援の取組み創出
- ②鶴岡市地域支え合い情報誌「和と輪つるおか」作成（見える化の取組）
- ③鶴岡市地域支え合い活動研修会
～住み続けたい そんな想いをかたちに～ 開催（見せる化の取組）
- ④鶴岡市担い手養成研修会 開催（年2回）
- ⑤鶴岡市地域ケア推進会議開催（第1層協議体 年3回）

①地域にある支え合い活動の把握、新たな支援の取組み創出

<令和3年度実績>

- ◆地域支え合い活動（月1回以上の活動）として把握している件数： 345件
- ◆新たな生活支援の取組み創出件数： 3件
- ◆新たな移送支援の取組み創出件数： 1件

<生活支援コーディネーターが関わった地域支え合い活動の一例>



～羽黒地域～
高齢者生活応援事業
（ゴミ出し支援）



～櫛引地域～
櫛引中学校 美術部
「くしびきおたすけ配達マップ」
（買い物・移動支援）



～温海地域～
浜っこマルシェ
（買い物支援）

②鶴岡市地域支え合い情報誌「和と輪つるおか」作成（見える化の取組）



【「和と輪つるおか」表紙】

地域の支え合い活動の可視化（見える化）を行い、地域の支え合い活動の推進を図ることを目的に、地域支え合い情報誌を発行し、地域住民組織・関係機関に広く配布し、支え合いの地域づくりについて周知した。

【掲載内容】

- ・浜っこマルシェ（温海地域）の紹介
- ・鶴岡市担い手養成研修会について
- ・鶴岡市のお宝発見
- ・生活支援コーディネーターの紹介

【発行部数】

5,000部

【配布先】

町内会、自治会、民生児童委員、コミセン 等

③鶴岡市地域支え合い活動研修会

～住み続けたい そんな思いをかたちに～ 開催（見せる化の取組）

目的：「通いの場」や「地域の支え合い活動」などを展開している団体の取り組み内容を紹介することにより、活動の継続意欲の向上や、新規の立ち上げへの機運を高めることを目的に開催。

実施日：令和4年1月17日（月）13：30～15：50

会場：メイン会場 鶴岡市総合保健福祉センターにこふる3階大会議室

リモート会場 温海庁舎6階大会議室、第3学区コミュニティセンター大ホール

内容：第1部：基調講演

「住み慣れた地域で幸せに暮らすために」

講師 東北公益文科大学 大学院公益学研究科長 教授 武田 真理子 氏

第2部：支え合い活動の発表

「地域の話し合いから生まれた支え合い活動『よろずや琢成』について」

発表者 酒田市琢成学区コミュニティ振興会 会長 田賀 幸二 氏

発表協力：社会福祉法人酒田市社会福祉協議会

第3部：講師、発表者によるディスカッションと質疑応答

参加者数：135人

④担い手養成研修の開催

対象者：地域で自分の力を活かしたい、地域貢献したい方

内容：通いの場の運営や日常生活支援の担い手となるために必要な基礎的な知識や技術の講習、通いの場の見学

	実施状況	修了者数
市実施第1回	第1回 実施期間：令和3年6月15日(火)～16日(水)、7月27日(火) 通いの場見学：令和3年6月28日(月)、29日(火)、7月2日(金)、5日(月)、6日(火)、9日(金)、13日(火)、14日(水)、20日(火) 会場：鶴岡市総合保健福祉センターにこふる3階大会議室	14人
市実施第2回	第2回 実施期間：令和3年11月18日(木)～19日(金)、12月24日(金) 通いの場見学：令和3年12月10日(金)、14日(火)、17日(金) 会場：鶴岡市総合保健福祉センターにこふる3階大会議室	8人
シルバー人材センター実施	事業者指定承認を受けた鶴岡市シルバー人材センターによる研修 実施期間：令和4年2月18日(金)、2月22日(火) 会場：鶴岡市シルバー人材センター支援室	8人

<担い手養成研修修了者数>

H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	計
44	40	49	30	18	30	211

⑤鶴岡市地域ケア推進会議開催

日常生活圏域レベルの地域ケア会議で明らかになった課題を整理し、解決していくために、保健・医療・福祉等の関係機関の代表者で構成する会議で、ニーズに対応したサービス資源の開発や、保健・医療・福祉等の専門機関や住民組織・民間企業等によるネットワークを強化し地域包括ケアの社会基盤整備につなげます。

令和3年度 実施状況

第1回	日 時：令和3年9月27日（月）（出席委員 14名） 内 容：① 委員の所属団体における地域課題について ② 今年度のテーマの決定について
第2回	日 時：令和3年12月27日（月）（出席委員 13名） 内 容：① 安心カードの取組について（鶴岡市社会福祉協議会 地域福祉課） ② 安心カードの活用事例について（鶴岡市消防署 警備第2課） ③ 全市的な地域の見守り体制について ～安心カードのさらなる普及に向けて～
第3回	日 時：令和4年3月25日（金）（出席委員 11名） 内 容：① 今年度の振り返り（報告） ② 安心カードの普及に向けて取組んだことについて（報告） ③ 全市的な見守り体制の整備について ・安心カードの今後の取組に向けて ・次年度に向けた「全市的な見守り体制の整備」の取組について

第2層生活支援コーディネーター 月次活動記録集計 (延べ件数)

	個別支援			地域支援										地域ケア会議				包括・法人内部会議	S C定例会	その他会議	研修参加	資料作成等事務			
	関係形成	直接支援	連絡調整	関係形成	協議	調査・情報収集	立ち上げ支援	運営支援	地域への働きかけ	サービス創出	担い手養成	マッチング	ネットワーク化	情報発信	連絡調整	事業実施	個別ケア						自立支援型	ネットワーク	推進会議
R 1	58	69	52	536	190	582	456	477	535	67	289	109	3	338	310	132	137	88	125	56	144	119	326	269	659
R 2	45	50	17	608	213	685	104	599	244	8	22	47	7	389	466	176	28	11	105	70	225	154	357	166	1528

R 3 計

新たな宝発見件数	50
新たな活動の立ち上げ件数	29
広報物の作成件数	116
情報発信の取り組み件数	451

令和3年度より、月次活動記録の様式を変更

令和3年度のまとめ

- ◆ 少子高齢化、人口減少が進み、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らしていくためのしくみづくりが求められているなか、鶴岡市地域支え合い活動研修会をきっかけに、地域にあったスーパー閉店後の不便さを解消し、活気を取り戻すために、住民主体で店舗を立ち上げるなど、生活支援コーディネーターの支援により、地域支え合い活動の輪が地域に広がりつつある。
- ◆ 「通いの場」や「買い物支援」など、生活支援コーディネーターが関わって新規に立ち上げた地域支え合い活動は、令和3年度29件となっており、生活支援コーディネーターの役割の重要性や認知度が高まりつつある。
- ◆ 令和3年度担い手養成研修を修了者は、30名となっており、第8期介護保険事業計画の評価目標値を達成した。